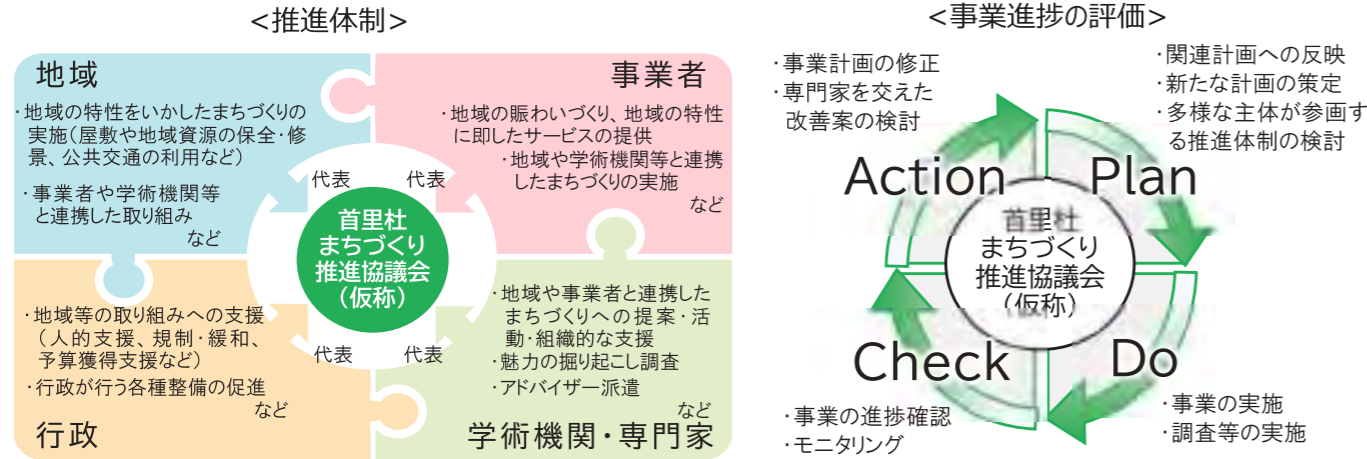


整備基本計画

●計画の実現にむけて

計画を着実に実施していくために、首里杜まちづくり推進協議会（仮称）を設置する。協議会は、地域団体や事業者、学術機関、行政など、首里杜地区のまちづくりに関係する各主体で構成する。協議会では、地域の将来像を共有し、必要な取り組み等について議論や活動を行うとともに、各事業の進捗を確認する。



首里杜地区整備基本計画【概要版】

2022(令和4)年4月 沖縄県

令和元年、火災により首里城正殿等が失われました。いま、多くの声援をうけて復興への取り組みが進んでいます。首里城復興は正殿の再建のみにとどまらず、首里城公園の再整備や首里のまちづくりの見直しにも及びます。本計画は、首里の歴史まちづくりの目指す姿や具体的な施策をとりまとめたものです。

[首里古地図] 沖縄県立図書館所蔵 CC BY 4.0 (<https://www.library.pref.okinawa.jp/archive/contents/cat39/overallview.html>)

参考：首里杜構想とは

首里杜構想(昭和59年)

「首里杜構想」は弁ヶ嶽御嶽を頂点に、真嘉比川と金城川の両水系に囲まれた範囲、及び流域と分水嶺一帯を、古都首里の歴史的發展を特徴づけた風土環境としてとらえた。首里の歴史的環境を支える地形の状況は、今も昔も基本的に変化はなく、長い歴史を越えて受け継がれてきた。そこで首里杜構想では、首里城を中核とする一帯を首里杜地区、これをとりまき2本の水系が骨格となった首里のまち一帯を首里歴史風土保全地区として、今後の首里のまちづくりに一つの方向性を示すと同時に、首里城公園の位置づけを明らかにするものである。

「新・首里杜構想」(令和2年度)

首里城公園及び首里杜地区を改めて一体的なものとしてとらえ、歴史・文化的遺産の復元整備や歴史的風土環境の保全を行い、後世に残していくという「理念」に基づき、5つの「方針」を定めている。

1. 中核をなす首里城及び外苑の一群の文化資源を保存・整備するとともに、文化を育む拠点の充実を図る。
2. 古都首里の歴史的なたたずまいに配慮した景観形成とともに、住みやすく魅力的なまちづくりを進める。
3. 総合的な交通対策により、暮らしと観光が両立した歩行者中心のまちづくりを進める。
4. 地形、地質、水系、植生等を基盤に形成された歴史的風土の環境を保全する。
5. 行政機関及び地域住民、教育機関、関係団体等が連携して推進体制を構築し、整備基本計画の策定、実施に取り組む。

対象範囲・計画期間

●計画期間

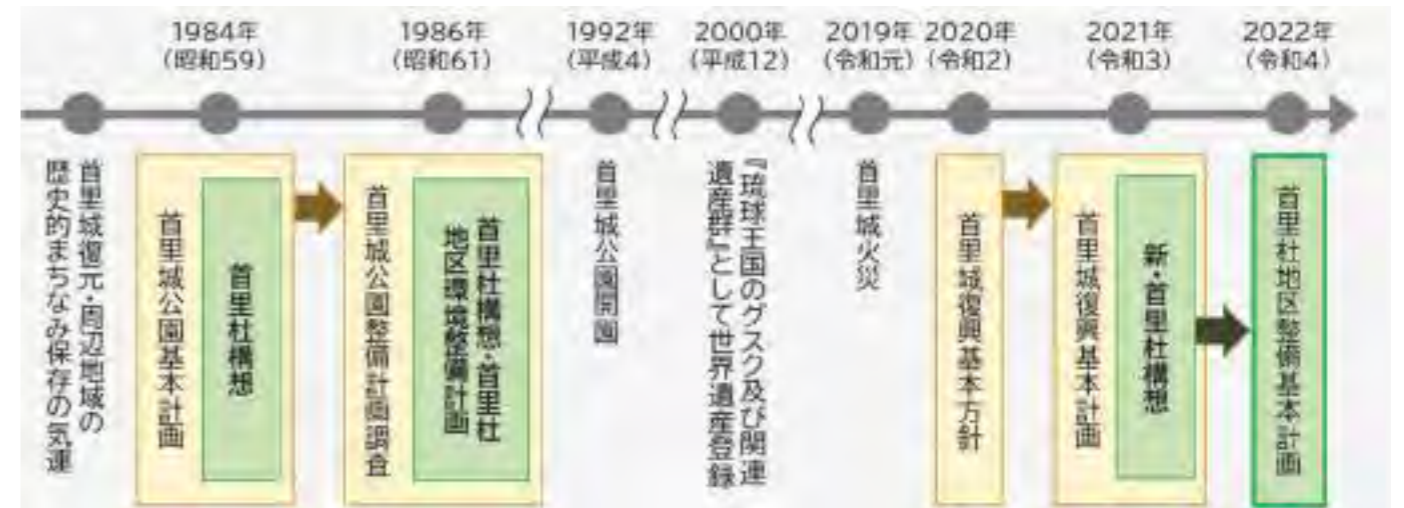
- ・2022(令和4)年度から2031(令和13)年度までの10年間とする。
- ・正殿の完成予定である2026(令和8)年度までを前期5年、それ以降を後期5年とする。

●対象範囲

新・首里杜構想で位置付けられた「首里杜地区」を基本とし、必要に応じて周辺の自然資源、歴史文化資源、都市施設等も対象とする。

●目的

本計画は、首里城公園のそもそもの理念である「首里杜構想」を受け継ぎ、令和の首里城復興に伴う「新・首里杜構想」の推進を目的に、歴史まちづくりの目指す姿や具体的な施策をとりまとめるものである。



お問い合わせ



沖縄県 土木建築部 首里城復興課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 TEL : 098-943-0140

首里杜地区整備基本計画 概要版【令和4年4月】

首里杜地区の特徴及びまちづくりの目指す姿

●特徴

首里杜地区は自然・地形の成り立ちから、首里城が成立し文化が開花した琉球王国時代、近代化や戦争の記憶と戦後の復興、そして現在の暮らしに至るまで、様々な歴史や文化が重層的に折り重なった地域である。

●目指す姿

首里杜地区は、自然や歴史を基盤にした首里の人々の営みによって形づくられてきた。沖縄戦などの被害を受けながらも、歴史・文化を受け継ぎ、新たなまちを形成してきた活力は、み出されていると考えられる。このような自然・歴史・暮らしが調和する首里らしいまちに、100年後まで住み続けられる持続的なまちづくりを目指す。

の記憶と戦後の復興、そして現在の暮らしに至るまで、様々な歴史や文化が重層的に折り重なった地域である。

害を受けながらも、歴史・文化を受け継ぎ、新たなまちを形成してきた活力は、み出されていると考えられる。このような自然・歴史・暮らしが調和する首里らしいまちに、100年後まで住み続けられる持続的なまちづくりを目指す。

首里城を中心とした古都のたたずまい、そこに息づく自然・歴史・文化や賑わいが、住民や来訪者にいつまでも受け継がれていく首里杜地区



●課題

- ①市街地形成における首里杜らしさの再構築
- ②歴史文化資源の継承
- ③持続的なまちづくり
- ④観光と地域振興の共存共栄
- ⑤交通の適正化
- ⑥新たな技術の活用
- ⑦地域住民が主役となる推進体制の確立

●基本方針及び施策体系

(1) 古都首里を感じられる空間の創出

- ①古都首里を感じられる良好な景観形成の推進
- ②水と緑の保全・再生・活用
- ③共創の景観まちづくりの推進



(2) 歴史文化資源等の保全・整備・活用

- ①幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用
- ②拠点資源及び周辺の保全・復元・整備
- ③歴史文化資源の魅力向上や新たな資源の創出



(3) 暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり

- ①暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善
- ②安全・安心で歩きたくなる市街地の形成
- ③伝統産業の継承や新たな賑わいの創出



将来イメージの実現に向けた体制づくり

整備基本計画

●取り組み一覧

2026(令和8)年 首里城正殿完成予定

●到達目標

整備基本計画は計画期間を10年間とし、10年後の到達目標を定める。

(1) 「古都首里を感じられる空間の創出」に向けた到達目標	これまでの取り組みの継続とともに、これからのまちづくりを誘導する計画・制度の導入を目指す。
(2) 「歴史文化資源等の保全・整備・活用」に向けた到達目標	首里城正殿は2026(令和8)年の完成が予定されており、周辺の歴史文化資源の整備もこれを踏まえ、10年間の計画期間内にある程度集中して環境整備することを目指す。
(3) 「暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり」に向けた到達目標	地区内の交通渋滞緩和、歩行者の安全性を確保し、ゆとりある歩道や交流スペースの確保など交流を促進する道路整備などを進め、暮らしと観光の両面からの交通環境の改善を目指す。

●取り組み抽出の考え方

必要な取り組みのうち、10年の計画期間で取り組むべきものを抽出する。

- 事業の必要性・・・①地域性、②持続性、③固有性
 優先度・・・・・・④緊急性、⑤事業成立性、
 ⑥早期実現性

基幹性・相乗効果・⑦基幹性、⑧相乗効果



方針	中項目	小項目	取り組み No	事業	事業主体	前期(5年)					後期(5年)	
						2022年度 令和4年度	2023年度 令和5年度	2024年度 令和6年度	2025年度 令和7年度	2026年度 令和8年度	2027~2031年度 令和9~13年度	
(1) 古都首里を感じられる空間の創出	① 古都首里を感じられる良好な景観形成の推進	住民主体の景観づくり活動の促進	No1	住民による修景整備(赤瓦、石垣、緑化等)への助成制度(龍潭通り沿線地区、首里金城地区)	市(都市計画課)	運用中	龍潭通り沿線地区(2003年~)、首里金城地区(1994年~)					
			No2	都市景観形成地域指定によるまちなみ誘導(ニシカタ地区、首里三箇地区)	新規 市(都市計画課)	調査、景観形成基準検討、合意形成					景観計画変更、条例改正	運用
			No3	制度等によるまちなみの誘導	新規 市(都市計画課)	調査、将来像・基準等の検討・共有、合意形成						
		景観に配慮した良質な公共空間の創出	No4	無電柱化推進事業(県道49・50号線)	県(道路管理課)	調査(文化財)	設計				工事	
			No5	公共事業における景観アセスメント	県(都市計画・モノレール課)	景観アセスメント対象事業の選定・実施						
			No6	首里社地区歴史散歩道の整備	新規 市(道路建設課)	取り組み内容、スケジュールの検討	調査・合意形成・設計・整備					
	② 水と緑の保全・再生・活用	湧水の保全・活用	No7	首里金城地区細街路整備事業	市(道路建設課)	整備中(2006年~)						
			No8	涵養機能の活用	地域・大学の協働市(環境保全課 他)	新築建物に対し「水資源有効利用・節水計画書」の提出(2000年~)						
			No9	湧水等を活用した交流スペース等の整備	新規 市(都市計画課、道路建設課 他)	取り組み内容、スケジュールの検討	調査・合意形成・設計・整備					
		緑の保全・再生	No10	地区内緑化の推進	新規 地域・大学の協働市(花とみどり課 他)	緑地保全・再生方策等の検討・実施						
			No11	地域人材の育成	県(都市計画・モノレール課)	人材育成・シンポジウム等の計画・実施等						
			No12	景観形成に係る意識啓発	市(都市計画課)	表彰・シンポジウムによる啓発(1986年~)						
(2) 歴史文化資源等の保全・整備・活用	① 幅広い歴史文化資源の再評価と保存・活用	推進に向けた調査・計画の策定	No13	歴史文化基本構想等の策定検討	新規 市(文化財課)	構想・計画の策定の検討						
			No14	近現代の歴史文化資源(戦跡含む)の調査	新規 市(文化財課)	調査の検討(必要に応じ実施)						
			No15	第32軍司令部壕保存・公開	新規 県(女性力・平和推進課)	有識者委員会における検討						
	② 拠点資源及び周辺の保全・復元・整備	歴史文化資源の保全・復元・整備	No16	中城御殿跡地整備	県(首里城復興課・都市公園課)	設計	工事					
			No17	円覚寺三門復元工事	県(文化財課)	工事						
			No18	龍潭周辺整備(松崎馬場、世持橋等)	県(首里城復興課・都市公園課)	調査・設計	工事等(順次実施)					
			No19	伊江殿内庭園保存整備事業	市(文化財課)	整備中(2003年~)						
			No20-1	指定文化財周辺の環境整備(南城郭、継世門等の修復保全)	新規 県(文化財課)	調査・設計・工事等(順次実施)						
	③ 歴史文化資源の魅力向上や新たな資源の創出	地域と協働による新たな文化資源の創出	No20-2	指定文化財周辺の環境整備	新規 市(文化財課)	整備等(必要に応じ実施)						
			No21-1	地域資源の調査及び修景等	新規 県(首里城復興課)	取り組み方針の検討	調査・設計				整備等(順次実施)	
No21-2	地域資源の調査及び修景等	新規 市(都市計画課)	取り組み内容、スケジュールの検討	調査・設計・修景整備等(順次実施)								
(3) 暮らしと観光が両立した住みやすく魅力的なまちづくり	① 暮らしと観光の両面からの交通環境の継続的改善	主要渋滞箇所の対策	No22	渋滞ボトルネック対策	県(道路街路課)	交通量調査、渋滞調査、対策検討、対策実施(順次実施)、効果検証						
			駐車場マネジメント	No23	首里社館駐車場の大型バス予約制による平準化	新規 県(首里城復興課・都市公園課)	システムの開発	試行				運用
				No24	駐車場の満空情報の発信・誘導(首里社館及び周辺駐車場)	新規 県(首里城復興課・都市公園課)	調査・検討	試行				運用
		公共交通の利用促進	No25	パーク＆ライドの推進(たご浦西駅、崎山P&R等)	新規 県(首里城復興課)	広報・啓発活動、利用促進策の検討・実施等						
			No26	乗合タクシー等のデマンド交通による移動手段の提供	新規 市(都市計画課)	需要調査、実施手法の検討						
			No27	循環バス、シャトルバス等の導入促進	新規 県(首里城復興課)	イベント時における実証実験						
			No28	MaaSの促進(シームレスな移動環境の提供)	公共交通事業者							
			No29	シェアサイクル等の促進(自転車利用促進策)	県(交通政策課) 那覇市(都市計画課)	運用中 運用中・サービス規模の向上検討						
			No30	自動車利用の行動意識の変革	県(交通政策課) 那覇市(都市計画課)	モビリティ・マネジメント、交通マナーの啓発						
	観光地マネジメントの推進	No31	観光客の受入体制等の整備(DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等)	新規 県(首里城復興課、観光振興課)	観光客の受入体制等の整備 DXの推進、観光交通対策、バス乗降場、P&R駐車場等							
		No32	サステナブル、レスポンスブル、ユニバーサルツーリズムの推進	新規 県(首里城復興課、観光振興課)	首里観光のあり方検討 周遊、案内サインやICTを活用した案内策など							
		No33	ビッグデータ等の蓄積・分析、施策立案、効果検証(TDM施策推進アクションプログラム)	新規 県(交通政策課)	TDMデータ分析プラットフォームの活用							
	② 安全・安心で歩きたくなる市街地の形成	生活道路の交通安全対策	No34	景観に配慮した生活道路の交通安全対策	市(道路管理課・道路建設課 他)	危険箇所把握・対策検討・整備等(順次実施)						
			No35	龍潭線街路整備事業	県(道路街路課)	拡幅整備(平成11年~)						
			No36	都市計画道路大中細街路の整備	市(都市計画課、道路建設課)	都市計画変更	事業手法の検討、事業認可手続き、事業実施等(順次実施)					
	③ 伝統産業の継承や新たな賑わいの創出	首里城公園から地域拠点への観光客の誘導	No37	まち歩き観光の促進	那覇市観光協会	まちまーい企画・実施(継続)						
			No38	伝統産業をいかにするための拠点整備・活用(suikara等)	新規 琉球びんがた事業協同組合、伝統織物事業協同組合	suikara周辺の景観形成及び利用促進、情報発信等による拠点活用策の検討等						

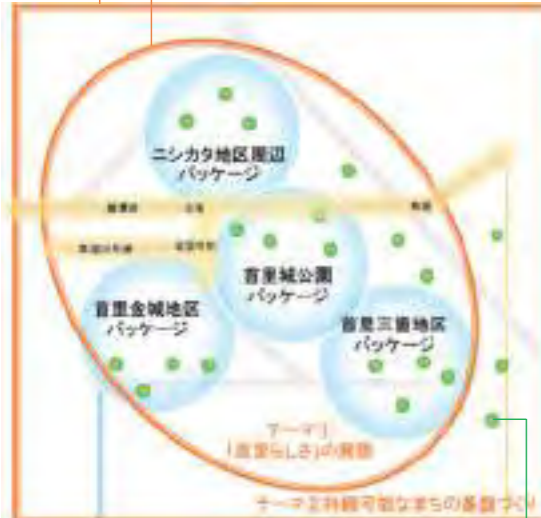
整備基本計画

●パッケージの考え方

各事業の整備効果を高め、関係者が多岐にわたる事業も連携しやすくするために、テーマ（視点）及びエリア別に関連する事業をパッケージとして整理する。



テーマ:
抽出した事業間の関係性等をわかりやすくするために、本整備基本計画の目指す姿を踏まえて設定した整備の視点



エリア別パッケージ:
テーマに関連する取り組みをエリア別にとりまとめたもの

軸パッケージ(首里城公園アクセス向上パッケージ):
首里城へのアクセス向上に関連する取り組みをとりまとめたもの

首里杜地区全体に関わる取り組み:
特定のエリアに限らず、首里杜地区全体に関わる取り組みパッケージの取り組みを支える側面があるため、各パッケージと組みあわせて進める

